

# 通 告 質 問 一 覧 表

(令和2年12月定例市議会)

順 位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
1	2	12 番 宮 田 好 夫	<p>1 本市の人口について</p> <p>(1) 高梁市総合計画基本構想(案)では、将来人口を2030年25,290人、2045年20,925人としているが、どのような施策を展開するのか</p> <p>① 合計特殊出生率の向上に向けての施策は</p> <p>② 社会動態の改善施策は</p> <p>2 高梁市図書館について</p> <p>(1) 高梁市図書館は2017年(平成29年)2月4日に開館し、指定管理期間は残り1年余りとなっている。今後の図書館運営はどのように考えるのか</p> <p>① これまで指定管理で運営した評価をどう総括しているのか</p> <p>② 指定管理期間満了に向けて、今後の運営をどのように考えているのか</p> <p>③ 今後も指定管理で運営するとすれば管理者の公募を行うのか。また指定管理料はどう考えているのか</p> <p>3 コロナ禍における小・中学校の対応について</p> <p>(1) 児童・生徒、教職員の体温管理はどのように行われているのか</p> <p>(2) 教室内の温度管理は適正に行われているのか</p> <p>(3) 感染防止に湿度管理が有効と言われており、加湿器を全教室に設置すべきではないか</p> <p>(4) 教室内のソーシャルディスタンスを保つため、少人数学級をさらに進めるべきではないか</p> <p>4 合併処理浄化槽設置事業補助金について</p> <p>(1) 来年度から合併処理浄化槽設置事業補助金のうち高梁市の上乗せ部分を廃止する予定であるが、生活環境の充実や自然環境の保全、定住促進に有効な施策であり、継続すべきではないか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
2	5	13 番 小 林 重 樹	<p>1 令和3年度一般会計予算について</p> <p>(1) 本市の令和3年度一般会計予算はどのような規模になるのか。また、財政の悪化は進んでいるのか</p> <p>(2) 共同通信社が、全国の自治体1,788団体にアンケートを取り1,576団体から回答があった。そのうち88%の自治体が財政悪化を見込んでおり、予算における減収を見込んでいる。そのアンケート内容と本市の回答内容を問う</p> <p>(3) 感染防止対策や冷え込んだ地域経済の活性化対策の財政負担に加え、地方税収を支えている地方法人2税（事業税、住民税）の大幅減収は避けられないが、地方法人2税のうち本市における法人住民税の減収はどれくらい見込んでいるのか</p> <p>(4) 本市の財源は地方交付税に頼るところが大きいが、全体的に見ても歳入不足は明確である。その歳入の不足額は全体の何%ぐらいか。また、それを補う手だては何なのか（地方債、臨財債）</p> <p>(5) コロナ禍において税収不足を補うため、他自治体が積極的に取り組んでいるのが、ふるさと納税制度の活用と強化である。本市における現況と将来の展望はどうか</p> <p>(6) 国は、自治体支援として総額3兆円の地方創生臨時交付金を創設し、地域経済の再生、休業補償等幅広く使える交付金としている。本市も今年度は独自に中小企業支援を打ち出したが、来年度においても独自の支援策を打ち出す予算は計上されるのか。また、それはどのようなものか</p> <p>2 近藤市長の市政運営方針を問う</p> <p>(1) 4期目を迎えた近藤市長であるが、3期12年を総括し、今後の4年間で取り組む重要政策は何か</p>
3	9	10 番 石 部 誠	<p>1 新型コロナウイルス感染症の市内への影響について問う</p> <p>(1) 今も広がりを見せる新型コロナウイルスの感染症対策や終息後の具体的計画について問う</p> <p>(2) 計画作成のために実態調査を行うべきではないか</p> <p>(3) 現在の国や高梁市の具体的支援策も広報が必要と考えるがどうか</p> <p>2 平成30年7月豪雨災害復旧の進捗状況と記録誌発行について問う</p> <p>(1) 災害復旧の現状と、被災者の生活状況を問う</p> <p>(2) 災害記録誌の内容と進捗状況について</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
3	9	10 番 石 部 誠	<p>3 日本遺産認定後の吹屋のまちづくり計画について問う</p> <p>(1) 日本遺産認定がどのように生かされているか</p> <p>(2) 旧吹屋小学校校舎保存修理工事の進捗状況と、その後の利活用について</p> <p>(3) 下町駐車場の舗装整備について</p> <p>4 吉備中央町上竹地内に計画が進められている産業廃棄物最終処分場について問う</p> <p>(1) 市は産業廃棄物最終処分場建設の進捗状況を把握しているのか。また、どのように対応しているのか</p>
4	10	5 番 伊 藤 泰 樹	<p>1 ウイルス性感染症対策について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症に係る地域の現状について</p> <p>① 市内経済の疲弊した状態をどのように把握されているのかについて問う</p> <p>② 高梁市店舗内感染拡大防止対策支援補助金の内容と実績、今後について問う</p> <p>③ 高梁市「新しい生活様式」に向けた住宅リフォーム事業費補助金の内容と実績、今後について問う</p> <p>④ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の今後の活用について問う</p> <p>(2) 季節性インフルエンザ予防接種について</p> <p>① 季節性インフルエンザ予防接種の費用助成の内容と接種人数、率について問う。また、ワクチンの確保状況を把握されているのか問う</p> <p>② 令和3年度以降における全年齢を対象とした予防接種費用の助成の考え方について問う</p> <p>2 がけ地の安全対策について</p> <p>(1) がけ地の現状と課題について問う</p> <p>(2) 個人が行うがけ地の安全対策工事費の補助を含め積極的に取り組むべきではないかについて問う</p> <p>3 高梁市保育士養成奨学金貸付制度について</p> <p>(1) 奨学金貸付制度の現状と拡充について</p> <p>① 奨学金貸付制度の返還完了実績と現在の利用状況について問う</p> <p>② 奨学金貸付制度の拡充について問う</p> <p>4 住宅取得助成について</p> <p>(1) 住宅取得助成制度の広報手法と制度拡充について問う</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
5	8	1 番 金 尾 恭 士	<p>1 次期高梁市総合計画について</p> <p>(1) 市民の要望をどのように把握し次期総合計画へ反映させているのか</p> <p>(2) 次期総合計画に、山田方谷の至誠惻怛の精神とSDGsの目標を前面に打ち出し、2015年9月の国連サミットで採択され2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すとしてされているSDGsの17の目標と169のターゲットを中心とした国際目標を達成するよう推進すべきではないか</p> <p>2 川上医療センター（診療所、歯科診療所、ひだまり苑）について</p> <p>(1) 高梁市西部地区（川上町）の川上医療センターのそれぞれの施設の現状をどのように認識され、どのように評価しているのか</p> <p>3 本市の公共交通について</p> <p>(1) 交通手段のない交通弱者の今後について、どのような対策を考えられているのか</p> <p>(2) 路線バス、生活福祉バスの今後のあり方について、どう考えられているのか</p> <p>4 有漢義務教育学校について</p> <p>(1) 義務教育学校創立に向けて、児童・生徒、保護者の不安解消のために、教育委員会が積極的にリーダーシップをとるべきではないか</p> <p>(2) 陰山メソッドを義務教育学校の教育の中心に据えられているが、陰山メソッドに対してのこれまでの評価を問う</p> <p>(3) 全国に誇ることができる義務教育学校にするためにも、各分野の力を結集した学校づくりをすべきではないか</p> <p>5 市民への災害情報の周知のあり方について</p> <p>(1) 野外で聞くことができる放送手段が必要ではないか</p>
6	7	2 番 平 松 久 幸	<p>1 イベント等補助金の見直しについて</p> <p>(1) イベントの実施にあたり、運営内容を実施主体と十分調整されているのか</p> <p>(2) 実施主体が収入増を図るためには、どのようなものを想定し、どう支援していくのか</p> <p>(3) 見直しにあたり目標金額はあるのか</p> <p>(4) 見直しにあたっては、段階的に行うべきではないか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
7	4	4 番 小 柴 健 男	<p>1 憲法を暮らしに生かした行政をするべきではないか</p> <p>(1) 現憲法と地方自治制度が果たしてきた役割について、市長の認識を問う</p> <p>(2) 3期12年間で憲法を市政に生かしてこられたのか</p> <p>(3) 今後、総合計画や行財政改革で憲法を生かそうとする考えがあるのか</p> <p>2 認知症徘徊者見守り支援を強化するべきではないか</p> <p>(1) 徘徊者の家族や地域の現状について認識を問う</p> <p>(2) 高梁市徘徊SOSネットワーク事業の実績と課題について問う</p> <p>(3) 徘徊SOSネットワークをさらに広げて連携協定を行う必要があるのではないかと</p> <p>(4) 市有の高齢者福祉施設で、徘徊者や身元不明者の一時保護を行うことはできないか</p> <p>3 市道などの生活関連施設の維持管理は市が責任をもって行うべきではないか</p> <p>(1) 市道の管理責任は誰にあるのか</p> <p>(2) 市道と農業用施設の新設改良、修繕の過去5年間の申請件数と実施件数はどのようになっているのか</p> <p>(3) 市道の修繕に原材料支給制度があるが、高齢化、人口減少のもと町内会での施工は無理があるのではないかと</p> <p>(4) 農業用水路であっても、青線を兼用する水路は、防災上からも公共性が高く市の管理責任の割合は高いと考えるがどうか</p> <p>(5) 受益者負担割合の引下げを考える必要があるのではないかと</p> <p>(6) 市道や農業用施設の公共性の高い施設の修繕が年度内で対応できない場合、翌年度に予算を増額し、修繕を行うべきではないかと</p>
8	1	16 番 川 上 博 司	<p>1 行政手続きのオンライン化について</p> <p>(1) マイナポータル・ぴったりサービスのメニューの中から、何を既に活用し、追加を検討している項目があるのか</p> <p>(2) マイナポータル・ぴったりサービスを活用できていない理由を明確にするとともに、今後の取組方針を示すこと</p> <p>2 行政手続における押印廃止と書面主義の見直しについて</p> <p>(1) 国において行革担当大臣が推し進めている押印廃止について、中央省庁の行政手続き文書への押印が実際に約99%廃止された場合、本市の行政文書においても、何が連動して廃止できるのか。今から廃止対象リストの洗い出しをすべきではないかと</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
9	11	14 番 倉 野 嗣 雄	<p>1 定住対策について</p> <p>(1) 本市の空き家の現状はどうか</p> <p>(2) 現在行っている空き家対策はどのようなことなのか</p> <p>(3) 空き家活用の情報発信は十分できているのか</p> <p>2 行財政改革について</p> <p>(1) 今年の国勢調査による地方交付税への影響はどうか</p> <p>(2) 本市の自主財源が約3割まで落ちている。今後の見通しはどうか</p> <p>(3) 本市の一人当たりの公共施設延床面積が他市よりも大きいと思うがどのように思われるか</p> <p>(4) 公共施設の統廃合は進んでいるのか</p> <p>3 職員の意識改革について</p> <p>(1) 市長が4期目の出馬にあたっての決意表明をされた際の一般質問で、職員の意識改革は十分でないと言ったが、今の思いはどうか</p> <p>(2) 職員教育の現状について問う</p>
10	6	6 番 森 和 之	<p>1 ママ・サポート 119 について</p> <p>(1) 平成 27 年度から開始されたママ・サポート 119 であるが、53 件の救急搬送時において問題点はなかったのか</p> <p>(2) 救急車内分娩に備えて隊員は研修を行っているのか、また、必要な予算は組まれているのか</p> <p>(3) 妊婦の不安解消のため、救急搬送時に助産師の同乗は考えられないか</p> <p>2 学校薬剤師について</p> <p>(1) コロナ禍の中、インフルエンザの蔓延も心配される季節を迎えるが、学校における学校薬剤師の取組に変化はあるのか</p> <p>(2) 学校から依頼されている学校薬剤師は共通の認識で活動しているのか。また、協議会なるものは存在しているのか</p> <p>(3) 学校以外での活動（災害備蓄品へのアドバイスなど）も考えられるがどうか</p> <p>3 部活動の再編と外部指導者について</p> <p>(1) 生徒数が減少する中で部活動の存続が危惧されている。高梁市としてどう取り組むのか</p> <p>(2) 平成 29 年 12 月議会において、教員の負担軽減のためにも外部指導者の活用を提言したが、改めて市の方針を聞く</p>

順位		通告者	項目及び要旨
発言	受付		
10	6	6番 森 和之	4 新型コロナウイルスの感染に伴う情報拡散と風評被害について (1) 情報漏えいなどについて、関係機関としっかり協議できているのか。市職員のモラルハザードは大丈夫か
11	3	7番 森 上 昌 生	1 令和2年9月の市長選挙及び市議会議員選挙について (1) 4期目の市政を担われる心境は (2) 市民に選択肢のない状況が生まれたことをどのように受け取るのか (3) 今後こうした状況を再び繰り返さないためにどのような方策が考えられるのか